

～なり

【意味】 「～するとすぐに～」

「いきなり」(suddenly, all of a sudden)の「なり」

【接続】 [辞書形]+なり

【注意】 「～が早い」と「～や否や」は起こることに使うが、「～なり」は普通、同じ前文と後文が同じ主語で「～するとすぐに～する」の意味で使う。

後文は働きかけの文は来ない。(「～が早い」、「～や否や」と同じ)

JLPT の問題では「～が早い」、「～や否や」、「～なり」のように非常に似た文法が同じ問題の選択肢の中に出てくることはほとんどない。細かいことにこだわらずに文脈で意味を取れるようにすることが重要。

例文と練習

- ① 彼は帰って来るなり、ああだこうだと文句を言い始めた。
- ② 彼は電話に出るなり、相手の名前も聞かず「うるさい」と言って電話を切ってしまった。
- ③ 社長は出社するなり、営業部全員、至急会議室に集まるようにと指示を出した。
- ④ _____ なり、自分の部屋にこもってしまった。
 1 夕食を 2 終わる 3 食べ 4 娘は

前文と後文の主語が異なる例

- ① 青空が見えていると思ったら、家を出るなり雨が降り始めた。
- ② アメリカの雇用統計が発表されるなり、株式市場が反応した。
- ③ 判決が出るなりレポーターは法廷を飛び出し、ものすごい勢いでカメラの前に走ってきて「勝訴」と書かれた紙を開いた。
- ④ その子はお母さんが抱っこするなり、_____



至急 しきゅう、 青空 あおぞら、 雇用統計 こようとうけい、 株式市場 かぶしきしじょう
 判決 はんけつ、 法廷 ほうてい、 勢い いきおい、 勝訴 しょうそ、 抱っこする だっこする